

世界防災フォーラムでセッションを開催しました（2017/11/26-27）

テーマ：復興、防災・減災、仙台防災枠組
場所：仙台国際センター（宮城県仙台市青葉区）

2017年11月25日(土)から28日(火)にかけて、仙台国際センターにおいて、「世界防災フォーラム」が開催されました。「世界防災フォーラム」はスイスの防災ダボス会議と連携し、仙台に国内外から産・官・学・民の防災関係者が集まり、東日本大震災に関する知見を世界発信、さらに防災の具体的な解決策を創出し、BOSAIという言葉が災害リスク軽減から復興・再生までを包括する概念として世界へ浸透させることを目指して開催されました。

11月27日に実施された東京海上グループ・東北大学産学連携フォーラム「アジア太平洋地域における災害に負けない社会づくり～科学と保険の力」では、今村文彦教授（災害科学国際研究所長）による基調報告ののち、アジア太平洋金融フォーラムのジュリアス シーザー パレーニャス氏、財務省 藤井大輔氏、世界銀行 濱田秀明氏、東京海上日動火災保険株式会社 長村政明氏をパネリスト・モデレーターに加えたパネルディスカッションを行い、産官学連携（Public-Private-Academia Partnership）を通じて、効果的な災害リスクマネジメントシステムを開発し、災害に強い地域社会を構築することを提言しました。

世界防災フォーラムおよび同会場で同時開催の「第2回防災推進国民大会」において、寄附研究部門の教員は、以下に記すセッションの主催、パネリストとしての参加、ブース出展、ポスター展示を実施しました。ブース展示には小此木八郎 内閣府特命担当大臣（防災）も来訪され、産学連携活動の内容・成果、防災グッズに関心を持っていただきました。

【世界防災フォーラム】

● セッション

- 11月26日、NHKシンポジウム「命を守る “防災情報”」、パネリスト：今村文彦 教授、サッパシー アナワット 准教授
- 11月27日、東京海上グループ・東北大学産学連携フォーラム「アジア太平洋地域における災害に負けない社会づくり～科学と保険の力」、パネリスト：今村文彦 教授

● ポスターセッション

- Integrated researches and activities on tsunami disaster risk reduction: Industry-academic collaboration under Earthquake Induced Tsunami Risk Evaluation (Tokio Marine) research field at IRIDeS, Tohoku University, 今村文彦 教授、サッパシーアナワット 准教授、山下啓 助教、安倍祥 助手、林晃大 助手、保田真理 プロジェクト講師
- Educational program to increase awareness of disaster reduction –Practice examples linked to society of Tohoku University–、保田真理 プロジェクト講師

【第2回防災推進国民大会】

● ブース展示

- 東北大学 災害科学国際研究所 地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門、地震津波リスク評価および総合的な防災・減災に向けて 一産学の連携を通じて一、展示担当：山下啓 助教、林晃大 助手、保田真理 プロジェクト講師

● ポスターセッション

- 東北大学災害科学国際研究所・東北大学リーディング大学院グローバル安全学トップリーダー育成プログラム 福島県いわき市津波避難研究プロジェクト、津波災害時における自動車の避難をどう考える？、展示担当：安倍祥 助手

● 屋外展示

- 東北大学災害科学国際研究所・日産自動車株式会社・本田技研工業株式会社・オートモーティブエナジーサプライ株式会社、災害時対応型電気自動車（EV）EVからの電力供給、展示担当：安倍祥 助手



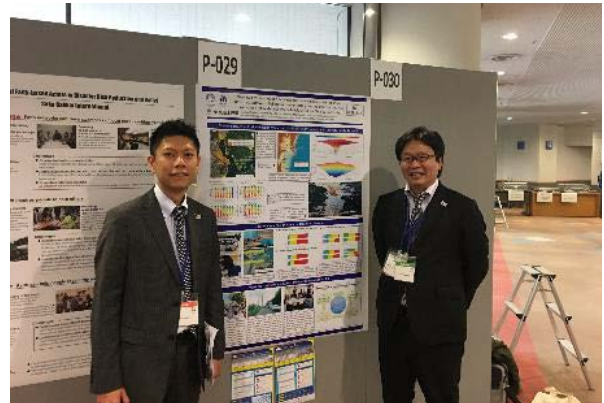
今村文彦 教授



パネルディスカッションの様子



セッションの様子



ポスター展示の様子



ブース展示の様子



屋外展示の様子